

内管工事単価表

ポリエチレン管(PE管)

単位[¥/m]

口径	材料費	工費	掘削費	埋戻費	税抜単価	税込単価
25A	820	1,220	570	360	2,970	3,267
30A	1,150	1,220	570	360	3,300	3,630
50A	2,320	1,830	710	450	5,310	5,841

※材料費にはロケーティングワイヤも含まれる

プラスチック被覆鋼管(PLS管)

単位[¥/m]

口径	材料費	工費	掘削費	埋戻費	税抜単価	税込単価
20A	860	1,380	570	360	3,170	3,487
25A	1,230	1,510	570	360	3,670	4,037
32A	1,340	1,510	570	360	3,780	4,158
40A	1,500	1,990	710	450	4,650	5,115
50A	2,270	1,990	710	450	5,420	5,962

白ガス管(SGP管)

単位[¥/m]

口径	材料費	工費	掘削費	埋戻費	税抜単価	税込単価
15A	540	1,100	-	-	1,640	1,804
20A	540	1,100	-	-	1,640	1,804
25A	930	1,230	-	-	2,160	2,376
32A	1,010	1,230	-	-	2,240	2,464
40A	1,160	1,750	-	-	2,910	3,201
50A	1,920	1,750	-	-	3,670	4,037

フレキシブル管

単位[¥/m]

口径	材料費	工費	掘削費	埋戻費	税抜単価	税込単価
15A	760	420	-	-	1,180	1,298
20A	760	420	-	-	1,180	1,298
25A	1,100	420	-	-	1,520	1,672

ガス工事の参考見積額(標準モデル)

ガス工事費 61,116 円(税込)

工事費内訳

品名	仕様	数量	単価(円)	金額(円)	備考
PE配管	25A	9 m	2,970	26,730	
PLS配管	25A	1 m	3,670	3,670	
SGP配管	25A	2 m	2,160	4,320	
フレキ配管	20A	12 m	1,180	14,160	
フレキ配管	15A	1 m	1,180	1,180	
フレキコック	20A	1 個	3,000	3,000	
フレキコック	15A	1 個	2,500	2,500	
小計				55,560	
消費税		10 %		5,556	
合計				61,116	

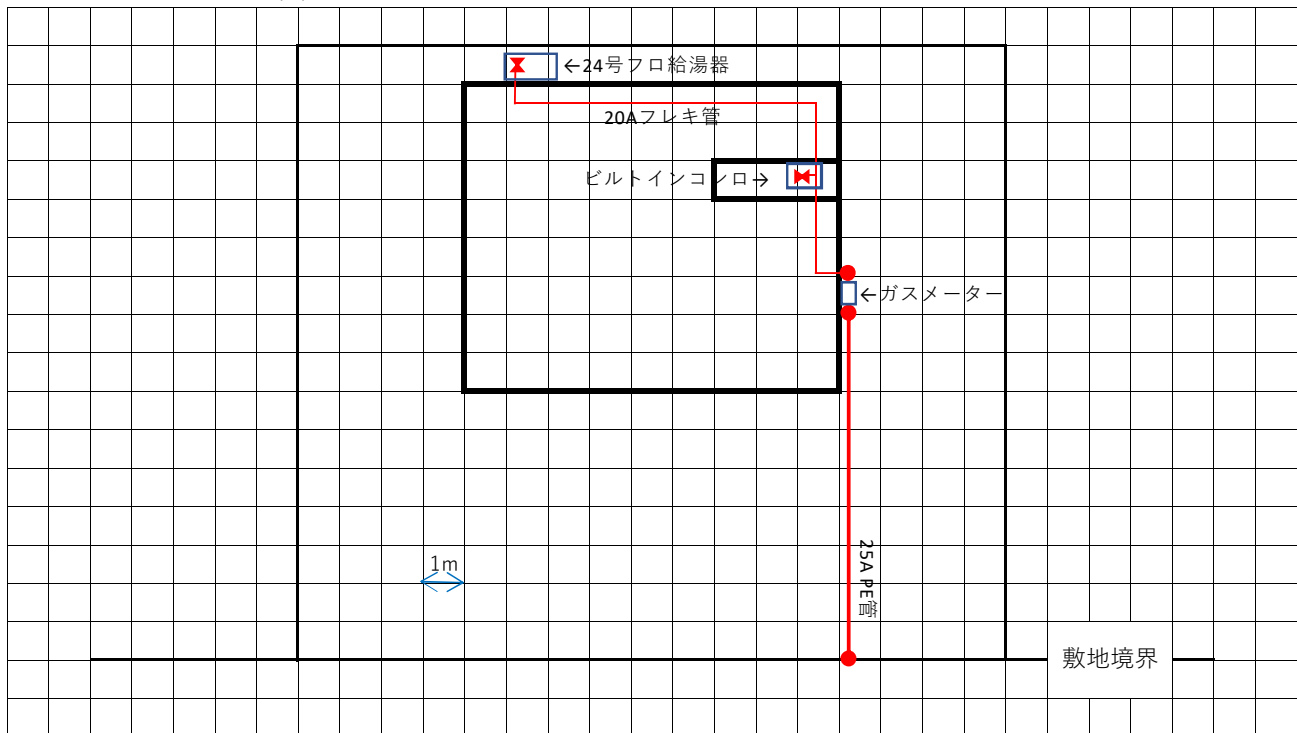
※上記参考見積額は、経済産業省が作成した標準モデルに基づき算定したものです。

※上記参考見積額は、お客様の敷地内のガス管やガス栓の工事費用となります。敷地の前面道路にガス管が埋設されていない場合に必要となるガス本管費用や給湯器・コンロ等のガス機器の費用は含まれません。

※ガス工事場所の状況やガス工事な内容が標準モデルと異なる場合、実際のガス工事費は上記参考見積額とは異なる場合があります。

内管工事費用算出用全社共通モデル

内管工事見積用平面図



見積条件

- ・新築の戸建木造住宅
- ・ガス機器：2台(設計対象は、以下のガス流量とする)
 - ①24号ふろ給湯器【ガス消費量(ガス流量)⇒給湯 3.71m³/h、ふろ 0.92m³/h】
 - ②ビルトインコンロ【ガス消費量(ガス流量)⇒バーナA 0.35m³/h、バーナB 0.35m³/h】
- ・ガスメーターまでは、PE管の埋設管(延長9m)
- ・ガスメーター以降は、フレキ管の露出配管^{※1、※2}
- ・機器接続工事は見積に含む(ガス栓は機器接続ガス栓^{※3})
- ・外壁貫通における穴あけ及び穴補修は見積に含まない
- ・上記以外の口径、配管ルート、支持金具等の仕様は各社の標準仕様による

※1 新築の戸建木造住宅の配管標準仕様としてフレキ管を採用していない事業者は、各社の標準仕様とする。

※2 フレキ管にて床下を配管する場合は、基礎の形状は考慮せず、最短ルートで配管できるものとする。

※3 機器接続ガス栓が標準仕様でない事業者は、各社の標準仕様とする。

提出資料

- ・見積書(詳細含む)
- ・見積内容がわかる図面
(配管ルート、管種、口径、延長等、見積内容が確認できる注釈を明示する)

考え方

- ・内管工事費用を横比較する上で、全ての事業者において事例があると思われる一般的で最も簡易な新築戸建て木造住宅を想定。
- ・内管工事費用を算出するために必要なガスメーター1次側のガス配管については、上記の配管ルートを示し、延長を9mとする。
- ・内管工事費を算出するために必要なガスメーター2次側のガス配管については、各施工法等の違いが想定されるため、機器配置を上図の通りにすることを前提とした上で、配管ルート、管種、口径、延長等は各社標準仕様とする。